

国体の大会旗・炬火リレー走者を募集します

2004年 あなたも主役のひとり!

市内5区間の国体大会旗および炬火リレーに参加する『リレー走者』を募集します。

募集内容

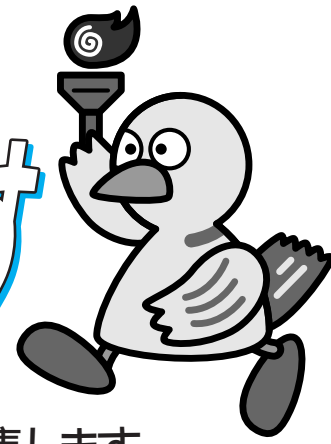
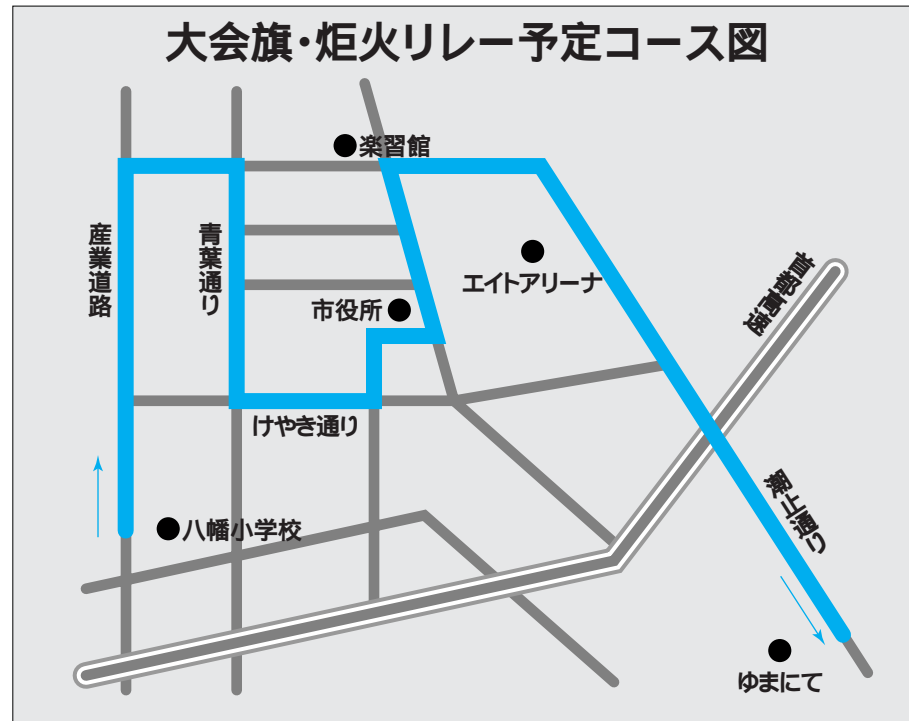
- 10月17日(日)、午前9:00スタート(予定)
- 平成16年4月1日現在において市内在住の小学5年生以上で、1,000mを6~10分で完走できる方
障害者や高齢者の方で伴走等の介助が必要なときは、介助者も並走ができる方。また、介助者も所定の速度で走行できる方とします。
- 市内を5区間に分け、1区間10人編成で大会旗と炬火を運びます。1区間の距離は、600m~1,500mです。参加者には大会のTシャツ等を支給します。
- 50人(定員を超えた場合は抽選)
- 無料
- 2月末日(郵送は消印有効)までに下記の応募用紙(コピー可)へ必要事項を記入のうえ、国体推進課窓口または郵送で申し込み(〒340-8588八潮市中央1-2 1彩の国まごころ国体八潮市実行委員会炬火リレー走者担当)申し込みは1人1回
- 国体推進課 ☎(内)830

「炬火リレーとは?」

炬火とは一般に、かがり火、たいまつのことを言いますが、国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会では、リレー隊において「先導役を務める火」のことを言い、オリンピックの聖火リレーに当たるものです。

彩の国まごころ国体大会旗および炬火リレーでは、埼玉県内10カ所で採火された炬火は、県内市町村をリレーし、最終的には秋季大会のメイン会場となる熊谷スポーツ文化公園陸上競技場の炬火台に点火されます。

八潮市では、越谷市科学技術体験センターで採火された「明日を開く希望の火」を草加市より引き継ぎ、市内5カ所の中継地をリレーし、三郷市に引き継ぎます。



こちらはある日の夕食の献立「特製カレーライス」です。



朝食の献立は、こんな感じです。

民泊の時の献立が決まりました!



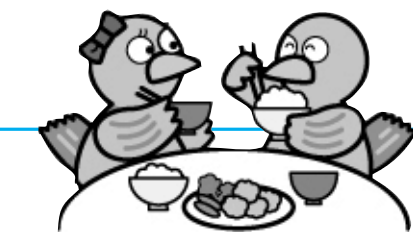
この献立は、彩の国まごころ国体実行委員会が提案した「彩の国まごころ国体献立集」を参考に、八潮市の特産品である小松菜などを加えて、市職員の栄養士が7日間14食分の八潮市独自の献立を作成しました。

おー、美味しそう〜
大皿盛りは、おかわりしやすいな〜!

栄養のバランスはもちろん、ボリューム満点のものばかりです。

昨年の12月18日、市の国体実行委員会役員と昨年の静岡国体に埼玉県少年男子代表として出場した、浦和学院高等学校ハンドボール部の選手の方々に、八潮版の献立で本番同様に「大皿盛り方式」で試食をしていただきました。

大皿盛り方式は、調理スタッフの「盛り付けと後片付けの手間が大幅に省ける」と同時に、選手の皆さんは、「食べたいものが好きなだけ食べられる」という、お互いメリットがあることが、この試食会でも確認することができました。



試食会の様子です



ほんとう、美味しいな〜。大皿盛りは、おかわりできるからいっぱい食べられるぞ!

国体大会旗・炬火リレー参加応募用紙

ふりがな		
氏名		
住所	〒340-	
電話	()	
性別	男・女 (どちらかに)	
年齢	平成16年4月1日現在の年齢 歳	
生年月日	年 月 日	
職業等		
勤務先学校名	電話 ()	
介助者の伴走	あり・なし	
車椅子の使用	あり・なし	
保護者の自筆署名および押印	走者が18歳未満の場合必要です	

民泊ご協力をお願い



市の実行委員会では、10月の国体開催に向けて、ハンドボール競技成年・少年男子40チームの選手の方を、地域をあげて心のこもった「民泊」を実施するための準備を進めています。

国体は、毎年開催地が変わるため、選手の皆さんは埼玉県、そして「八潮市」に来ることを楽しみにしています。この民泊は全国各地から訪れる選手の皆さんと、心からのふれあいと交流をして頂きます。民泊を体験した選手と民泊に携わった市民の皆さんは、一生忘れることの出来ない思い出となるはずですよ。

現在、43すべての町会・自治会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ等の社会奉仕団体の皆様にご協力を頂いて、民泊の準備を進めています。

数年後、数十年後も語り継がれるような国体を開催するためには、市民の皆さんのほんの少しの、「こんなことなら出来ますけど...」という気持ちや、今、とても必要としています。

「ほんの少しの出来ること」からのご協力をよろしくお願い致します。



昨年の静岡国体における民泊の食事風景

29町会・自治会が民泊協力会等を設立(1月15日現在)

= ご協力ありがとうございます。 =



民泊協力会設立総会風景

民泊に関するお問い合わせ
 国体推進課 ☎(内)881
 Eメール: y08424igarashi@city.yashio.saitama.jp

民泊家庭・調理スタッフを募集しています!

今、各町会・自治会では、民泊家庭と調理スタッフを募集しています。

民泊家庭は、1軒に2名泊まれる場所(ひと間)があれば十分です。

調理スタッフは、お手伝いいただける時間に限りがある場合、「朝7時くらいまでなら...」「夕方だけなら...」など少しでも力を貸してください。

「私であれば...」ぜひ連絡お待ちしております。

